



2026 年度全日本学生ボードセーリング選手権大会レース公示(NOR)

期日 2026 年 11 月 12 日(木)～15 日(日)

開催場所 沖縄県国頭村字奥間海岸(オクマプライベートビーチ&リゾート)

——共同主催——

一般社団法人日本ウインドサーフィン協会

日本学生ボードセーリング連盟

——公 認——

公益財団法人 日本セーリング連盟 (承認申請中)

——協 力——

オクマプライベートビーチ&リゾート国頭

漁業協同組合沖縄ロジテム(株)日新航

空サービス(株)

——協 賛——

Take Outdoors Japan *****

< レース公示 >

1. 適用規則

- (1) 国際セーリング競技規則 2025-2028 および付則 B(以下規則という)に定義された規則を適用する。ただし、本公示(以下 NOR)および帆走指示書(以下 SI)にて修正・追加したものは除く。
- (2) テクノプラスクラスルールにて規定されているエキップメントの使用のみが許可される。ただし、クラスルール C9.1(b)のセールサイズ8.5の使用は認めない。またクラスルールE1(b)の50cmフィンも使用できないものとする。
- (3) 本大会時に於いて計測は行わないが(RRS B6_78.1 に基づき)、配布されるエキップメント・インスペクション・フォームに使用する道具のシリアルナンバー等を記載し、11 月 13 日のインスペクション時間内に係員の確認を受けなければならない。
- (4) 各規則と SI が矛盾する場合、SI を優先する。

2. 広告

主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求することがある。

3. 参加資格

- A) 2026 年度日本セーリング連盟の会員。
- B) 2026 年度日本ウインドサーフィン協会の会員。
- C) 2026 年度日本学生ボードセーリング連盟の会員。
- D) 日本学生ボードセーリング連盟の各支部予選レースにて出場資格を取得した者。
- E) 昨年度の本大会にて、男子 10 位、女子 6 位以内の成績の者。
- F) 未成年者に於いては、保護者が参加への責任を持つ事に同意をしている者。
- G) 自己および第三者への賠償を保証できる保険に加入している者。
- H) 所属する大学より、本大会への参加および遠征の許可が公式に得られている者。
- I) 本大会に於いては、メンズ、ウイメンズのクラス分けのみ行う。

4. 参加料等及び参加申し込み方法等

(1) 大会エントリー費用

19,000 円

※申込期限以降のエントリーの場合はレイトエントリーフィー3,000 円が別に必要です。

※関東・関西の大学はエントリー費に加え、コンテナ代 31,500 円も振り込むこと。

(2) 参加申し込み・参加料の支払い方法

参加申込書に必要事項を記入の上、既定の期日までに提出。

5. レーススケジュール

(1) 日程

11 月 12 日

10 00～13 00 インспекション

15 30～17 00 レジストレーション

11 月 13 日

9 35 開会式・ブリーフィング

10 55 第1レースの予告信号時刻 レース数 1

日最大 4 レース

11 月 14 日

9 55 その日の最初のレースの予告信号時刻 レース

数 1 日最大 4 レース

11 月 15 日

9 55 その日の最初のレースの予告信号時刻 レース

数 1 日最大 3 レース

18:30 表彰式・閉会式

11 月 16 日 エキップメント積込 解散

(2) 最終日のレース予告信号は 15 25 以降に発せられることはない。

6. エキップメント

(1) 大会期間中エキップメント検査を実施する場合がある。

(2) エキップメント類は、認可製造者の製品である事(シリアル番号等)を判読できる状態にしておかなければならない。

(3) セールナンバー

参加選手はセールナンバーを、規則付則 G、規則 77、クラスルール、学連規定に従って表記するものとし、大会参加後に於いても表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースを DNC とされる。

7. 帆走指示書(SI)

SI は大会当日の掲示板、本大会用 LINE オープンチャット、もしくはレジストレーション時に入手できる。8.

レースエリア

レースを行う海面は、オクマリゾート沖合とする。

9. コース基本トラペゾイドコースとするが、レース当日の海面状況により変更される場合もある。

10. レース回数

(1) 3 日間で最大 9 レース行う。

(2) 最低 1 レースをもって大会成立とする。

11. 賞・表彰 メンズクラス各 1

位～10 位

レディースクラス各 1 位～6 位

12. 抗議と救済要求

本大会では付則 T(調停)が適用される。SI に記載される。

13. 安全規定

(1) 海上にいる間、すべての競技者は個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。この項は第 4 章前文及び規則 40 を変更している。

(2) レース委員会は、帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命じることができる。この項は規則 3 を変更している。ただし、救済の根拠とはならない。

14. サポートボート

(1) サポートボートは、レース初日の最初の予告信号 60 分以前に陸上本部にて登録受付をしなければならない。

(2) サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。

A) 事前に大会事務局に現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認し、その指示に従うこと。

B) 平常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。

C) サポートボートは、事前にヨットモータボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険)に加入していること。

D) サポートボートはレース委員会よりサポート艇フラッグを受け取り掲揚しなければならない。15. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則 3「レースすることの決定」を参照。主催団体は、大会の前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16. 承諾事項、その他

- (1) クラスルールは<<https://www.sailing.org/classes/techno-293#Document>>を参照。
- (2) 天候コンディション等により中止となった場合でも、参加料の返還はしないものとする。
- (3) 当日、気象警報などが出た場合は中止とする。
- (4) 必ずスタッフの指示に従うこと。
- (5) 競技に参加するための道具は各自用意すること。
- (6) 自分の体力と当日の体調を確認し、各自の判断にて出場すること。
- (7) 浮力体を必ず各自用意しておくこと。
- (8) 選手の氏名、所属、順位等については、各種メディア等に掲載する場合があることを参加者は承諾する。
- (9) 大会期間中の選手に関する動画、スチール写真および撮影された映像、記録、フィルムまたはその製版の制作、使用および時々の展示について、無償で主催団体に独自の判断で使用する永久的な権利を自動的に与えるものとする
- (10) ごみを投棄しないこと。

17 中止基準以下に示す場合は、直ちにレースを中止する。

- (1) 平均風速 12m/s 以上、波高 1.5 メートル以上、視程 1500m 以下。
- (2) レスキュー艇の故障等不測の事態発生により、大会責任者において安全なレース運営ができないと判断した場合。
- (3) 出場選手において、重大な事故が発生した場合。
- (4) 各種の気象警報が発令している場合。
- (5) その他、各責任者において、安全なレース運営ができない何らかの理由を認め、当該報告を受けた大会責任者が安全なレース運営ができないと判断した場合。

添付 1 予定レース海面

